

## 腰部脊柱管狭窄症 (TLIF)

腰部不安定性が出現したためL3/4のTLIFを行った。TLIFではカーボン製ケージの内部およびその周囲に局所骨+人工骨顆粒スーパーポアKG-4 (2.0mm-4.0mm) 5gに血液を混合※したものを補填した。椎間に補填する際は、シリンジを用いた。



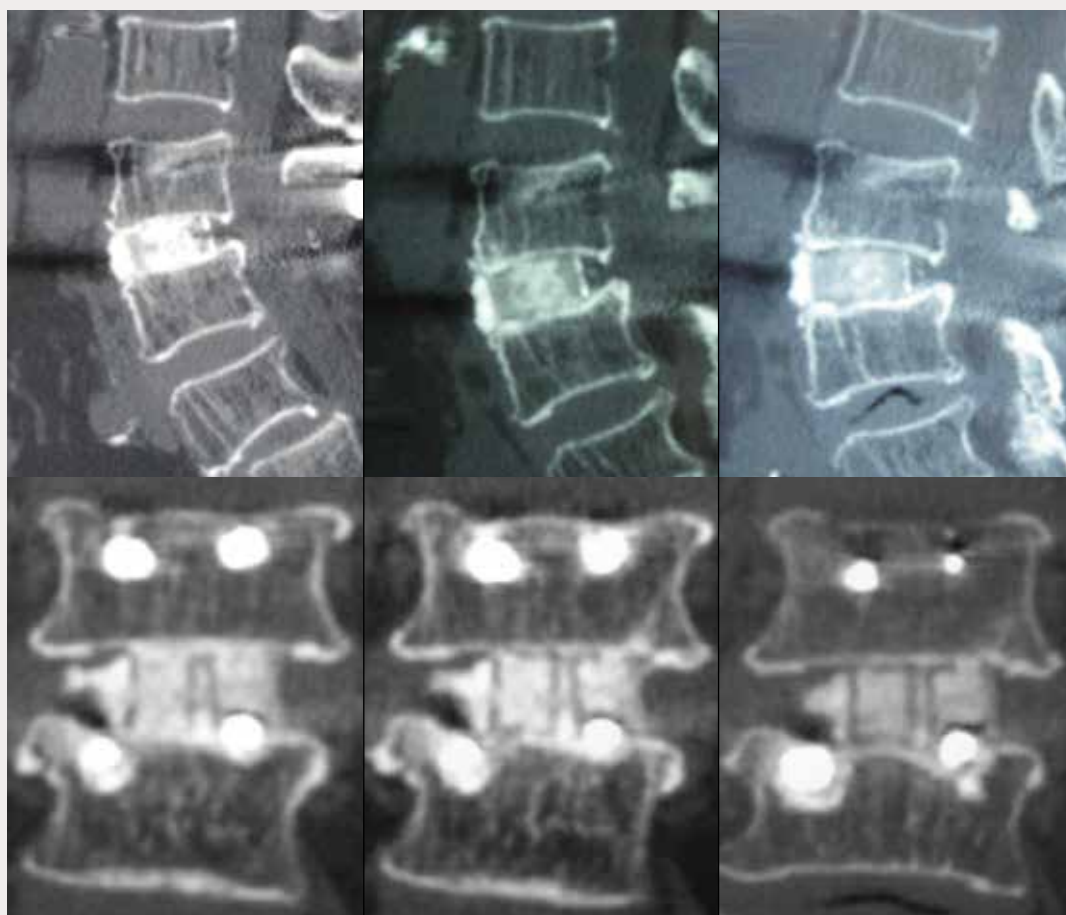
カーボン製ケージに補填  
補填材料(局所骨+人工骨+血液)  
※混合比 局所骨:人工骨=1:1



KG-4  
2.0mm-4.0mm



シリンジを用いて  
椎間へ補填



マルチCTスキャン



術後2週



術後2ヶ月



術後3ヶ月

術後3ヶ月にて、術後2週と比較して、カーボン製ケージ内に入れた補填材料(局所骨+人工骨+血液)およびその周辺は、椎体の骨質に近い骨硬化の傾向が認められた。